

株式会社まるひで

会社の成長を機に 障がい者雇用へ

1976年に小さな精肉店からスタートした「まるひで」は、「お客様と共に」をモットーに、堅実な経営で業容を拡大し、県内各地の百貨店やスーパーに30店舗の直営精肉店やテナントを構えるまでに成長。現在は、店舗運営に加え、業務用肉の卸・飲食店・弁当・惣菜店・土産物店の運営、宿泊・観光事業への進出（グループ会社として展開）と、広く大分県の食・観光を支えています。



▲取締役 総務部長 小野康隆さん

そんな当社が本格的に障がい者雇用をスタートしたのは2002年。本社の移転、食肉加工工場の新設、精肉店出店の増加と、会社が急速に成長した時期に当たり、会社の規模が大きくなるにつれ、社会的責任を強く意識するようになり、法定雇用率をクリアするのにも必要がありました。当然、人手もほしいその全てを満たす方策として、障がい者雇用に踏み切ったんです。そこから支援機関と連携しながら順調に雇用を拡大。現在は7名の障がい者知的2名、精神3名、身体2名が在籍しており、主に本社にあるパックセンター（食肉加工工場）で肉のパック詰めや仕上げ作業を行っています。

「障がい者はもちろん、外国人労働者も、高齢者も、会社の成長を支える貴重な戦力です。区別する必要はありません。その人に合った仕事を切り出すことさえできれば大きな力を発揮してくれますから」。労働力不足が深刻化する食業界において、ダイバーシティの推進は必須。小野さんの考え方はすでに社会のスタンダードになりつつあります。

支援機関との連携で スムーズな雇用を実現

『まるひで』が障がい者雇用において、長年安定した実績を誇る背景には、支援機関との密な連携があります。入社4ヶ月の山田さんも高校卒業後、太陽の家※が運営する就労継続支援B型事業所や就労移行支援事業所「チャレンジたいよ」での職業訓練を経て入社しました。同施設で就労支援にあたる竹内さんは「本人が苦手とするコミュニケーションの訓練を重点的に行いました。まだ克服したとはいえませんが、分からないことを尋ねるメモを取るなど成長したと思います。入社前に行った5日間の雇入れ体験、職場実習でも意欲がある」と評価していただきました。入社までの道のりを振り返ります。

支援機関を通じての雇用は、就職後も継続したサポートが受けられるのが強み。山田さんも入社当初は週に1回、落ち着いてからは1ヶ月に1回、職場訪問や電

Corporate data

〒870-0319
大分市大分流通業務団地
1丁目3番6
TEL.097-524-3711



話による定着支援を受けており、その中で仕事面・生活面の課題を一つずつ解決しています。今では時短勤務（8時〜15時）からフルタイム勤務（8時〜17時）へのステップアップを目指しています。本社勤務の障がい者をサポートするセンター長の加藤さんも「専門知識のある方がフォローしてくれるので安心です。山田さんが私たちに直接言ってくれても結構いい聞き出し、共有してくれれます」と大きな信頼を寄せています。他にも、大分ラザ（なかほ）や特別支援学校など、様々な機関と連携することで、安定した雇用を行っています。



▲山田さん(左)は初給料で買い物を楽しむなど、精神面も大きく成長。

頑張りや評価 正社員登用制度も

山田さんは現在パックセンターのとり部門で鶏肉のパック詰めや業務終了後の清掃を担当しています。まだ不慣れながら、こまめにメモを取ったり、質問をするなど、熱心な仕事ぶりが印象的。センター長の加藤さんも「真面目で一生懸命。コミュニケーションは苦手ですが、素直に話を聞いてくれるので、仕事上の支障はありません。清掃に関してはすでに手順を覚え、一人で動いています。元々とり部門が人手不足だったので、非常に助かっています」と高く評価しています。また、驚くことに山田さんの入社に際し、職場で設けたルールは無理難題を言わ

ないことのみ。現場には障がい者個性として受け入れる土壌が出来上がっているため、特別扱いはいらないのだと思います。「健常者だつて性格はバラバラだし、得手不得手もありますよね。それと同じです。障がい者もその人の個性と捉え、大らかに受け止めることが大切です。頑張りや正社員（入社時はロングパート）への道も拓けますから、それをモチベーションにしてみたらどうでしょう」。加藤さんはじめ、現場のスタッフは、「障がい者ではなく、山田さん個人」と向き合い、ともに働く仲間として当たり前のようになっています。



▲スピードアップを目標に、パック詰め技術向上に動んでいます。



周囲の協力 「苦手」を克服中

工場勤務を希望していたので、家から近く、業務的にも自分に向いている「まるひで」を紹介されました。チャレンジしたいようコミュニケーションの訓練をしましたが、まだ克服できた訳ではありません。声も小さいと自覚している中で、普段は「できるだけ大きな声を出す」「分からないことは自分から聞く」などを心がけています。今の目標は、仕事のスピードアップです。まだ入社4ヶ月ですが、職場の人、支援員さんなど、たくさんの人に支えられています。

- 山田さんの担当業務
- 鶏肉のパック詰め
- 業務終了後の清掃



▲苦手なコミュニケーションの克服を目指し、日々、努力しています。

障がい者雇用のために利用できる助成金制度のご案内

- トライアル雇用助成金
問合せ先 | 大分労働局 大分助成金センター
TEL.097-535-2100
- 特定求職者雇用開発助成金
問合せ先 | 大分労働局 大分助成金センター
TEL.097-535-2100
- その他 雇用環境整備のための助成金
問合せ先 | (独)高齢・障害・求職者雇用支援機構大分支部
高齢・障害者業務課
TEL.097-522-7255

- 障がい者雇用アドバイザー
問合せ先 | 障害者就業・生活支援センター(裏面参照)
- 障がい者職業訓練コーディネーター、コーチ
問合せ先 | 高等技術専門学校(裏面参照)
- 特別支援学校ジョブ・コンダクター
問合せ先 | 特別支援学校(裏面参照)
- 障がい者雇入れ体験
問合せ先 | 障害者就業・生活支援センター(裏面参照)